

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（資産成長型） / （予想分配金提示型）

（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型） / （予想分配金提示型））

2022年初来の運用状況と今後の見通し

2022年6月22日

平素は、「ダイワSociety5.0関連株ファンド（愛称：スマートテクノロジー） 資産成長型／予想分配金提示型」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

本資料では、当ファンドの2022年初来の基準価額の推移についてご報告します。

2022年初来のグローバル株式市場は、米国での金融正常化の動きや1月の米国CPI（消費者物価指数）の上振れでインフレ懸念が強まったこと、ウクライナ情勢の緊迫化などを受けて3月半ばまで軟調な展開となりました。3月後半には FOMC（米連邦公開市場委員会）において事前予想通り利上げ開始が決定されましたが、イベント通過後は金融政策への不透明感が和らいだことからグローバル株式市場は上昇に転じました。4月以降は、米国CPIが市場予想を上回ったことによるインフレの高止まりへの懸念や、世界的な金融引き締め動きに対する警戒感から軟調な展開となりました。

Ⅰ（図1）当ファンドとグローバル株式市場（MSCI World（円換算））の比較

1月5日:FOMC議事要旨
早期および速いペース
での利上げの可能性が
示される

2月10日:CPI発表
一段の物価上昇が
示される

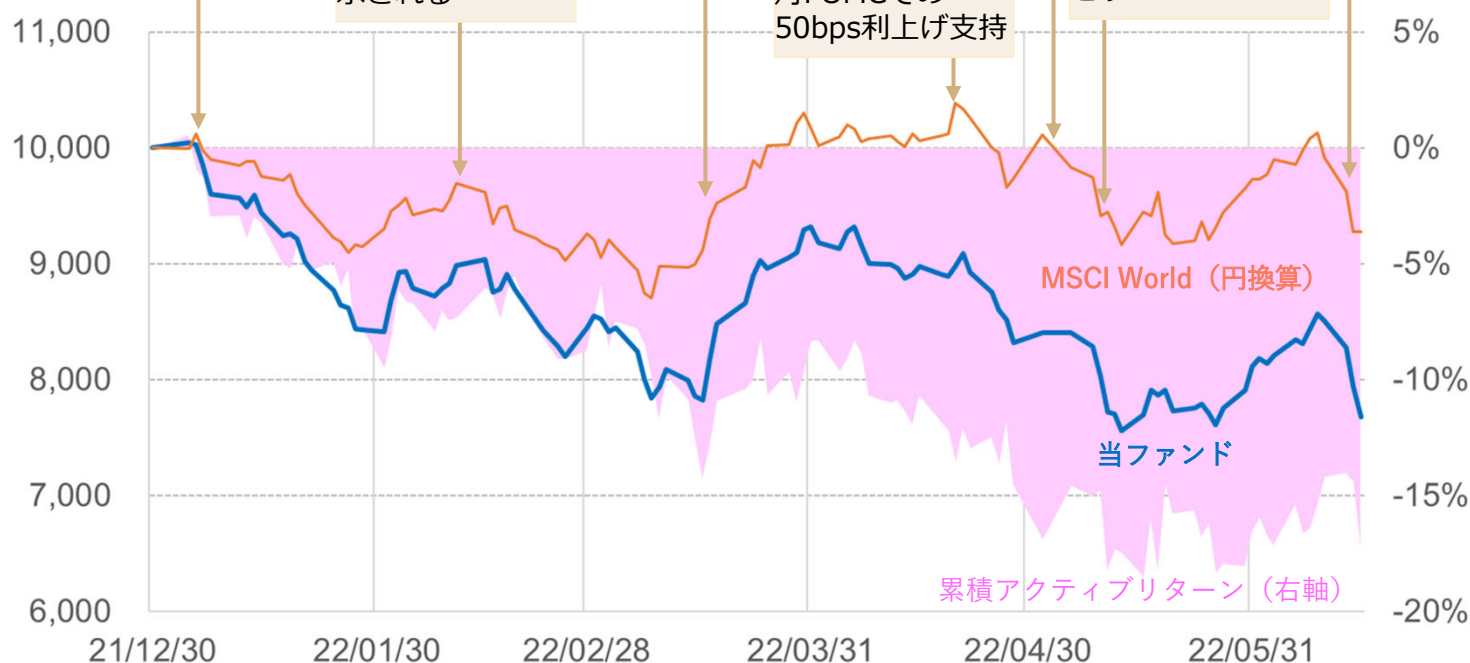
3月16日:FOMC
25bpsの利上げ開
始が決定

5月4日:FOMC
50bpsの利上げを
決定

4月21日:IMF会合
パウエル議長が5
月FOMCでの
50bps利上げ支持

5月11日:CPI発表
市場予想ほど減速
せず

6月9日:ECB理事会
ECB(欧州中央銀行)
が7月の利上げ決定
6月10日:CPI発表
市場予想を上回る



※ 当ファンド（マザーファンド）とMSCI World(円換算)は2021年12月末を基準に指数化

※ 2021年12月末から2022年6月15日

（出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

大和アセットマネジメント

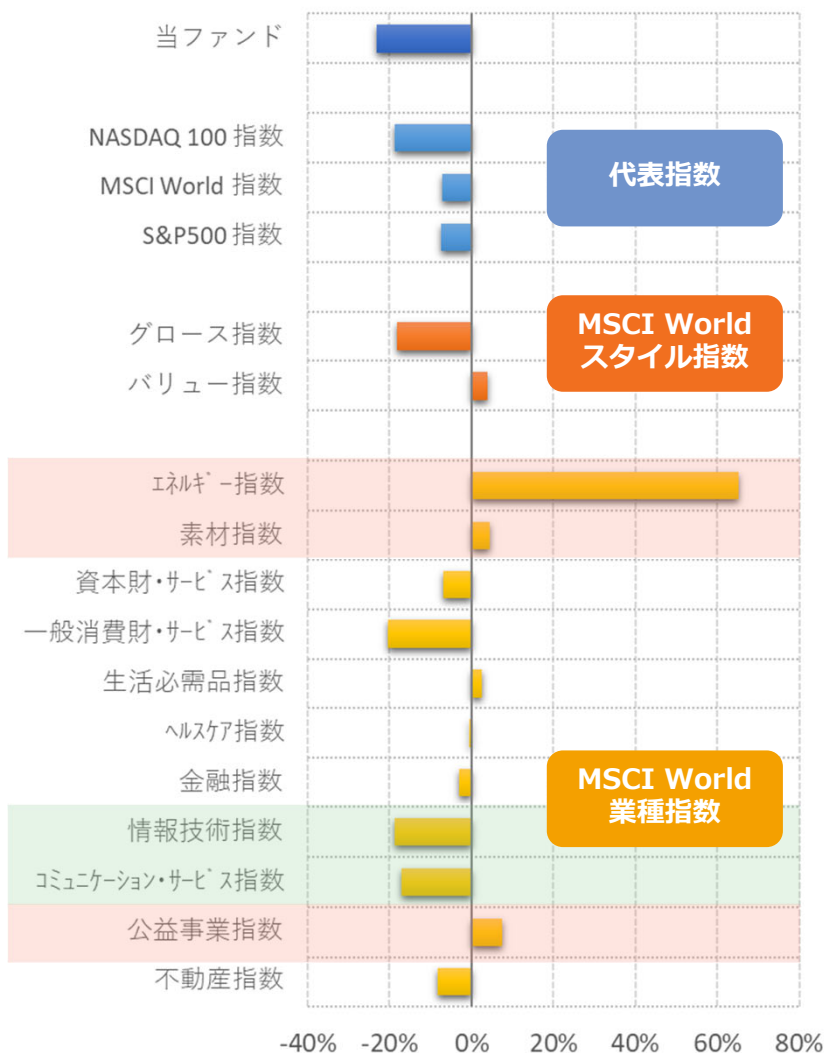
Daiwa Asset Management

■ グローバル株価指数に対するパフォーマンス

当ファンドは、Society5.0の実現の流れをグローバルで共通のテーマと考え、成長魅力度の高いテーマ型ファンドに投資を行っておりますが、金利上昇局面では、成長魅力度の高い**グロース株は割高感が意識されることや将来の収益見通しの悪化懸念から売られる**傾向にあります。また、当ファンドでは、2022年初来ではウクライナ情勢の緊迫化に伴う資源価格上昇から恩恵を受け上昇した**素材やエネルギー**、物価上昇による業績への影響が小さい**公益事業**といった業種の構成比率が低く、調整幅の大きかった**情報技術やコミュニケーション・サービス**といった業種の構成比率が高いことからグローバル株式市場と比較しても、軟調な推移となりました。

■ (図2) 代表的指数・スタイル指数・業種指数の騰落率

指数騰落率 (2021/12/30 ~ 2022/6/15)



■ (図3) 当ファンドの業種構成比率
(2022年5月末時点)

業種分類	構成比率
1 情報技術	43.2%
2 ヘルスケア	20.4%
3 コミュニケーション・サービス	11.5%
4 一般消費財・サービス	9.1%
5 資本財・サービス	8.1%
6 金融	3.0%
7 素材	2.0%
8 生活必需品	1.4%
9 不動産	1.2%
10 エネルギー	0.0%
11 公益事業	0.0%

※ (出所) 組入ファンドの情報、Bloomberg等のデータをもとに当社作成

※ 円ベース
(出所) Bloomberg等のデータをもとに当社作成

当ファンドの組入ファンドの騰落率と投資比率につきましてはファンド情報 (https://www.daiwa-am.co.jp/funds/detail/2744/detail_top.html) から月次レポートをご確認下さい。

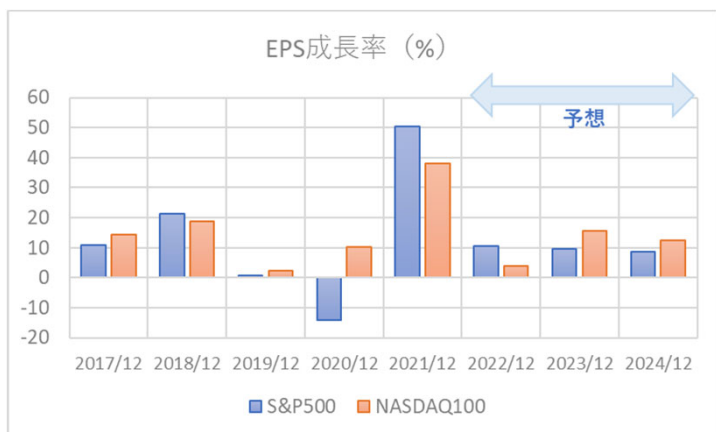
今後の見通し

米国市場（S&P500種指数）と、ハイテク株の構成比率が比較的高いNASDAQ100指数の予想EPS成長率と予想売上高成長率をみますと、2022年～2024年で増益、売上高の拡大傾向の継続が予想されます。このことから、中長期的には企業業績への期待感からグロース株が再び注目される場面が期待されます。

足元にかけての当ファンドの基準価額下落の主な要因はインフレ懸念の強まりや金融引き締め加速と考えられ、市場のリスク回避姿勢の継続には注意が必要となる一方で、今後はインフレに対する警戒感の後退やグロース株の割高感の解消が進むことが当ファンドに追い風となると考えます。

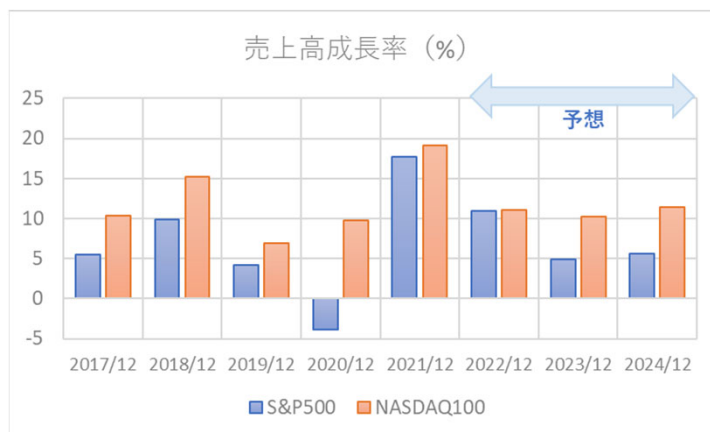
米国株式市場の見通しに関する詳細は5月26日発行のマーケットレター（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/market_letter/20220526_01.pdf）をご参照下さい。

（図4）米国市場の予想EPS成長率



（出所）FactSetのデータをもとに当社作成

（図5）米国市場の予想売上高成長率

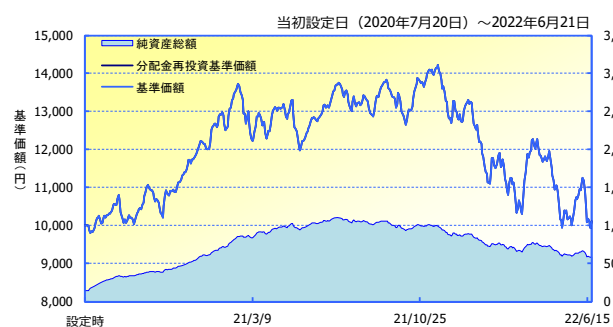


（出所）FactSet等のデータをもとに当社作成

基準価額・純資産の推移（2022年6月21日現在）

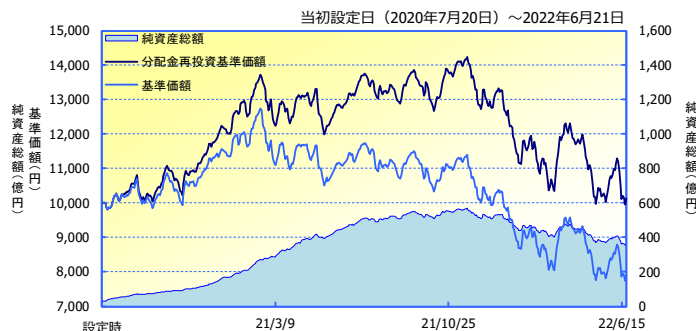
資産成長型

基準価額	10,109 円
純資産総額	590億円



予想分配金提示型

基準価額	7,893 円
純資産総額	361億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

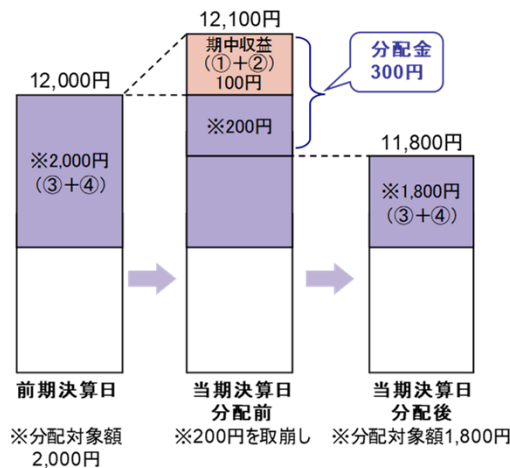
投資信託で分配金が支払われるイメージ



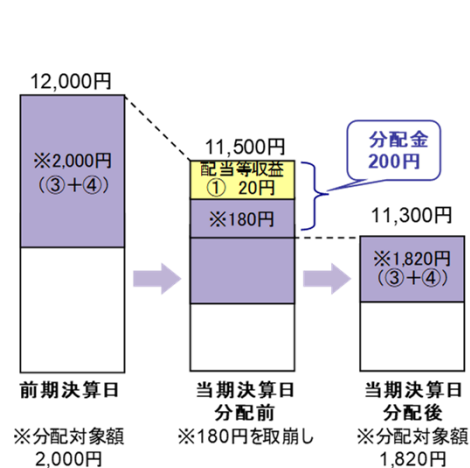
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



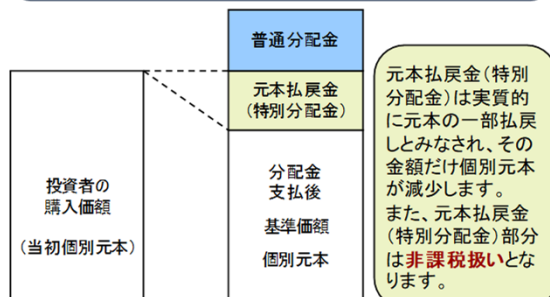
前期決算日から基準価額が下落した場合



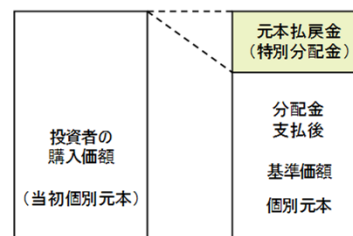
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

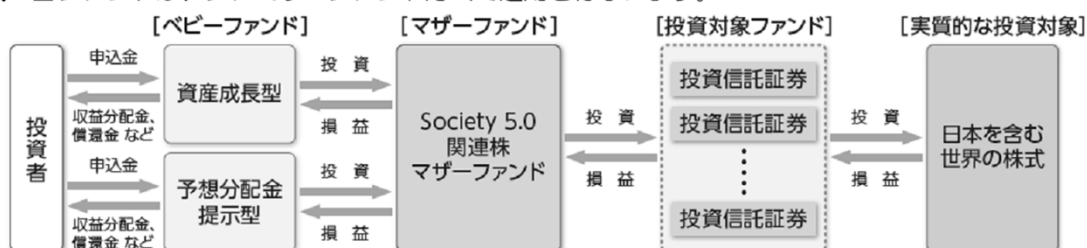
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「Society 5.0」をテーマに投資信託証券を選定し、日本を含む世界の株式に実質的に投資します。
 - ◆ Society 5.0 とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。
 - ◆ Society 5.0 を4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
 - 4つのコンセプト
 - ・支える技術（デジタル基盤技術等）
 - ・便利な暮らし（省力化等）
 - ・健康的な暮らし（医療等）
 - ・豊かな暮らし（消費・サービス等）
2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。



3. 分配方針の異なる2つのコースがあります。

資産成長型

- 毎年1月19日および7月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
- （注）第1計算期間は、2021年1月19日（休業日の場合翌営業日）までとします。

予想分配金提示型

- 毎月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
- （注）第1計算期間は、2020年8月19日（休業日の場合翌営業日）までとします。
- 計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じ、下記の金額の分配をめざします。
- ※ 基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
- ※ 当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
10,000円以上 11,000円未満	100円
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 計算期末の前営業日の基準価額が10,000円未満の場合、原則として、分配を行ないません。

※ 基準価額に応じて、分配金額が変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※ 分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※ 販売会社によっては「資産成長型」または「予想分配金提示型」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
 ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（資産成長型）（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型））
 ：資産成長型
 ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（予想分配金提示型）（愛称：スマートテクノロジー（予想分配金提示型））
 ：予想分配金提示型
- ◆ 各ファンドの総称を「ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（愛称：スマートテクノロジー）」とします。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜 3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.122%（税抜 1.02%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 （2022 年 1 月末時点）	年率 1.67%（税抜 1.55%）～1.96%（税抜 1.78%）程度 ※マザーファンドの投資ユニバースに含まれる投資信託証券の運用管理費用を考慮した ものです。実際の組入状況等により変動します。	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を 外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担い たします。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号
 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（資産成長型）
（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型）） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○		
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（予想分配金提示型）
（愛称：スマートテクノロジー（予想分配金提示型）） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○		
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。